

第116期年次報告書 2021年3月1日 ▶ 2022年2月28日

株式会社 **東京衡機**
証券コード：7719



TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY



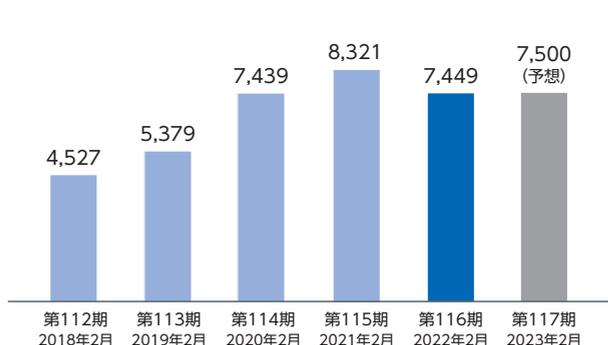
財務ハイライト

決算のポイント

- ✓ 試験機事業は、政府のDX関連予算を背景に学校向けの標準的試験機の販売は好調であったものの、顧客企業における設備投資やメンテナンスの中止ないし先送り、競合先との価格競争の激化等により、売上高、営業利益ともに前年度を下回る
- ✓ 商事事業は、海外向けの一般雑貨品や家電品等の商品の仕入・販売は、競争の激化により苦戦を強いられ、売上高は前年度を下回ったものの、営業利益は前年度を上回る
- ✓ エンジニアリング事業は、ゆるみ止めナット・スプリングは、既存顧客を中心に一定の売上を確保することができたが、ここ数年の東京オリンピック関連特需の反動を解消できず、前年度に比べ売上高、営業利益ともに減少
- ✓ 海外事業は、日系企業や中国国内の企業向けのオフィス家具部品や生活用品部品等のプラスチック成型品の販売が堅調で、売上高は前年度を上回り、営業利益ベースで黒字転換を達成
- ✓ 当社グループの事業ポートフォリオの見直しを行い、2022年2月に中国子会社を売却して海外事業から撤退し、連結決算上、関係会社株式売却損として特別損失110百万円を計上

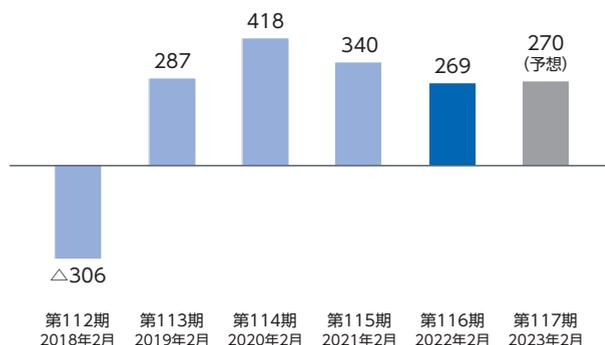
売上高

(百万円)



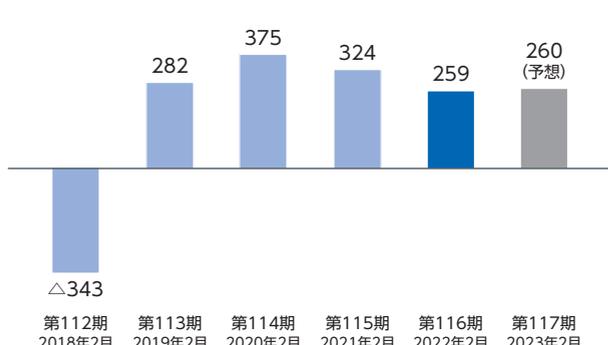
営業利益

(百万円)



経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



	第112期 2018年2月	第113期 2019年2月	第114期 2020年2月	第115期 2021年2月	第116期 2022年2月
財務関連データ (百万円)					
売上高	4,527	5,379	7,439	8,321	7,449
営業利益又は営業損失 (△)	△306	287	418	340	269
経常利益又は経常損失 (△)	△343	282	375	324	259
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失 (△)	△404	542	303	303	121
総資産	4,052	4,358	4,318	4,468	4,400
純資産	896	1,434	1,740	2,041	2,139
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	△34.8	46.5	19.1	16.0	5.8
自己資本比率 (%)	22.1	32.9	40.3	45.7	48.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	△354	448	196	207	217
投資活動によるキャッシュ・フロー	105	△218	△24	△98	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	12	△47	117	△129	98
現金及び現金同等物の期末残高	439	618	906	886	1,110
1株当たりデータ (円) *					
1株当たり当期純利益又は純損失 (△)	△56.65	76.08	42.61	42.52	17.04
1株当たり純資産	125.75	201.17	244.06	286.32	300.09

※2018年9月1日付株式併合 (10株→1株) を勘案した値を遡及して記載しております。

新たな成長ステージへ飛躍！ 東京衡機の挑戦



代表取締役社長

石塚 智士

専務取締役 エンジニアリング事業担当
兼商事事業担当

平田 真一郎

常務取締役
試験機事業担当

上野 正男

当社は、2022年2月8日開催の臨時株主総会にて新役員選任のご承認をいただき、石塚智士を代表取締役社長とする新経営体制を発足しました。ここでは、当社が今後どのように企業価値を高めながら未来を拓いていくか、その方向性について石塚社長、平田専務、上野常務の3名に語り合ってもらいました。

社長就任・新経営体制発足にあたって

石塚 東京衡機という会社は、複数の事業部門がそれぞれ独立した拡がりを持ち、ビジネスを展開しているユニークな企業グループです。新たに社長に就任した私に求められているのは、各事業の強みと可能性を深く理解しつつ、課題を早期に把握し、機会とリスクに対応していくことに他なりません。そして、グループ約150名の社員を守りながら、株主・投資家の皆様、お客様・取引先企業の皆様のご期待に応えていくことが、自らのミッションであると自覚しています。2023年3月に創業100周年を迎える当社は、長い歴史を通じて多くのステークホルダーに支えられてきました。その信頼を大切に受け継ぎ、一層の発展に尽力してまいります。

上野 私が統括する試験機事業は、当社の創業期からの主力事業ですが、長い年月を経て現在は、市場は成熟し売上は縮

小傾向にあります。社会の変化やユーザーの新たなニーズに応える「進化」の姿勢、それを全社に根付かせ、現状維持から脱却していくことが、私たち経営陣の役割だと考えています。

平田 当社は竹中前社長のもと、このたび他社に譲渡した中国子会社を含め、全ての事業の黒字化を果たしてきました。私たち経営陣は、これからの当社について「強固な財務基盤の確立」「既存事業のさらなる成長」「新たな柱となる事業の開拓」を社内・社外にコミットしていきます。

石塚 試験機や計測器は、多くの産業の基盤を支える存在であり、エンジニアリング事業が手掛けるゆるみ止めナットは、高い技術と信頼性で社会インフラの安心・安全を支えています。商事事業が取り扱う確かな品質の日本の商品は、これらの揺るぎない基盤から生み出され、暮らしの豊かさを届けます。私たちは、これまでの既存事業の価値提供に誇りを持ち、それ

企業理念

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、“価値ある商品”を提供します。

をさらに伸ばしつつ、海外事業に代わる新事業を育て、安定的な財務基盤のもと飛躍を目指し挑戦してまいります。

2022年2月期の振り返りと今後の展望

上野 2022年2月期の試験機事業は、政府のDX関連予算で学校や官公庁向けの標準的試験機が好調でしたが、コロナ禍の影響が続く中で企業の設備投資意欲が冷え込み、お客様と仕様を打ち合わせて一からつくり上げていくオーダーメイドの試験機とメンテナンスは、先送りや中止による売上減少に見舞われました。その後、徐々に引き合いは増えてきていて、安定的な回復に至っていないものの、改善の兆しは見られるようになっていきます。

平田 ゆるみ止めナット・スプリングを主力製品とするエンジニアリング事業は、既存顧客を中心に一定の売上を確保したものの、ここ数年の東京オリンピック関連需要による受注拡大の反動を受け、前期実績を下回りました。商事事業は、海外向け雑貨品や家電品の仕入・販売が競争激化により苦戦し、売上は減少しました。ただ、この減収は、収益認識基準の変更を見据えて売上計上を一部純額表示としたものが影響しており、営業利益は増加しています。

石塚 総括的には、コロナ禍による影響が想定以上に長引き、試験機事業を中心に需要の回復が遅れ、減収・減益となった状況です。また最終利益段階では、中国子会社の出資持分譲渡に伴う特別損失を計上しました。しかし中身を見ると、試験機事業・エンジニアリング事業は、依然として顧客基盤と収益力を維持しており、商事事業も利益を伸ばしていることから、実質的には堅調を示した1年と捉えています。

平田 今期(2023年2月期)は、先ほど述べました三つのコミットメントのうち、まず「強固な財務基盤の確立」を着実に進めていきます。借入金を減少させ、実質的な無借金経営化を遂げつつ、余った資金を既存事業の強化と新事業の立ち上げに投入していく方針です。この新事業については、当社の四本目の柱として、社会インフラを支える既存事業とのシナジーが見込める周辺領域を想定しており、今後M&Aの実施も視野に入れた展開を図ります。

上野 その一方、既存事業の強化については、製品ラインナップや顧客層の幅を広げる取組みに注力し、競争力を高めて受注・売上の拡大につなげていきます。

未来を拓くための人づくり・職場づくり

平田 新たな成長ステージへの飛躍を目指す当社にとって最も

重要な課題は、人材の獲得・育成です。これは、既存事業の強化においても、新事業の立ち上げにおいても必須となる条件です。そのために社員にとって働きやすく、魅力ある会社を実現していくことが、私たち経営陣の課題です。

石塚 現状として社内は、やはり高齢化が進んでいます。若い技術者やリーダー層を多く育て、次世代の新しい発想を活かしていきたいですね。当社は、その実践に向けた財政的な基盤をしっかりと準備してきたつもりです。

上野 競争力のさらなる向上を図る上で、今後はあらゆる面で、より高度な専門性が必要になってきます。その点で、優秀な若手人材の獲得・育成のみならず、豊かな経験を持つシニア人材の活用も求められると考えています。多様な人材が能力を十分に発揮し、生き生きと活躍できる職場環境づくりを進めていかなくてはなりません。もう一つの大切なテーマは、お客様とのつながりです。お客様との信頼関係は、当社事業の生命線であり、長くお取引をいただく中でお客様からの評価を常に維持し、高め続けることが重要です。近年は、お客様の研究部門と協業する形で、先方の製品開発に必要な試験機を当社から提供し、その後の導入に結び付ける取組みも行っています。この協業においても、当社側の人材が高度な専門性を備えている必要があります。

平田 人材力の強化を図り、お客様との関係を太くしていくことが、当社グループの可能性を広げ、新たな成長機会の獲得につながると言えますね。

株主の皆様にお伝えしたいこと

石塚 当社株式は2022年4月、東京証券取引所の上場区分変更の際に、スタンダード市場に移行しました。今後、同市場が求めるコーポレートガバナンスの水準に対応すべく、社内体制の整備・充実に努めてまいります。これに先立ち2021年12月には「サステナビリティ基本方針」を策定・公表し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していく姿勢と、その取組みの方向性を明確にしました。

東京衡機は、創業100年の歴史を超えて新たな飛躍を遂げ、社会に必要不可欠な会社として存続していきます。そして企業価値の拡大とともに、より大きな社会価値の創出を果たしていくことで、株主の皆様のご期待に応えてまいります。これからの東京衡機の「進化」にご注目いただき、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

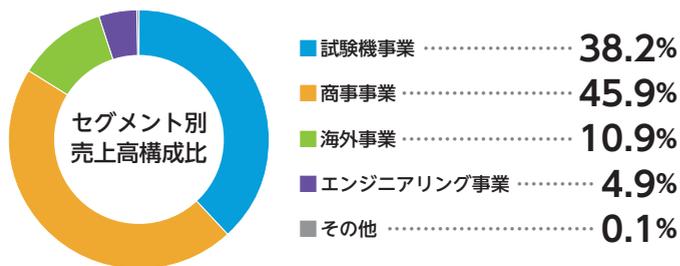
人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を尊重する”とともに、やさしさと温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、地域からも“信頼される企業市民”であり続けます。

セグメント別の概況



試験機事業

- 事業内容**
試験機・計測機器の開発・設計・生産およびメンテナンス・校正・受託試験サービス
- ビジョン**
産業・科学の基盤技術を支える信頼感と存在感のある試験機企業を目指す。

売上高 **2,844**百万円 営業利益 **431**百万円



商事事業

- 事業内容**
● 海外向けの各種商品の仕入・販売
● 日本国内向けの一般雑貨品等の仕入・輸入・販売
- ビジョン**
アジアを中心とした国際マーケットを視野に入れビジネスの拡大を目指す。

売上高 **3,421**百万円 営業利益 **61**百万円



海外事業

- 事業内容**
中国子会社におけるプラスチック成型品等の製造・組立・販売等
- ビジョン**
中国子会社のプラスチック成型事業を中心に安定的な収益基盤を確立する。

売上高 **813**百万円 営業利益 **43**百万円



※2022年2月に中国子会社を売却し、海外事業から撤退いたしました。

エンジニアリング事業

- 事業内容**
ゆるみ止めネット・スプリングの製造・販売、その他建築資材の販売
- ビジョン**
社会に安全・安心を提供し豊かな社会の実現に貢献する企業を目指す。

売上高 **365**百万円 営業利益 **62**百万円



その他

売上高 **6**百万円 営業利益 **0**百万円

・ Topics ・ 「5000kNコンクリートパイル曲げ試験機」を製作

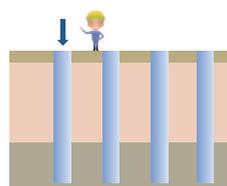


このたび、当社グループの(株)東京衡機試験機の相模原工場では、コンクリート業界向けに「5000kNコンクリートパイル曲げ試験機」を製作しました。コンクリートパイル（コンクリート製の基礎杭）は、様々な土木・建築構造物の基礎工事で使われる建築資材で、軟弱な地盤を補強するために地中深くまで打ち込んで建造物を支え、地震発生時の建物倒壊や地盤沈下を防いでいます。本機は主にコンクリートパイルの曲げ強さ試験を行う大型試験機で、床上高さ7m、床下基礎部1.2m、本体重量40トンの堅牢な構造を備え、5000kN（およそ500トン）の試験力を発生させることができ、直径1.2m、曲げ支点間隔9mまでの大きく長いパイルの試験が可能となっています。本機の開発においては、専門的な知識を要する各種設計、高精度大型シリンダーの製作、高所組立作業など様々な難問を解決して完成に漕ぎつきました。

(株)東京衡機試験機では、これからも様々な試験機の改良や新製品の開発に取り組み、お客様の多様なニーズに柔軟にお応えしてまいります。

豆知識

コンクリートパイル（基礎杭）は、基礎工事において軟弱な地盤に深く打ち込み、建造物を支えたり、地震時に建造物が地盤沈下しないようにするために用いられます。



株式情報 (2022年2月28日現在)

株式の概況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数*	7,133,791株
株主数	2,870名

※上記の発行済株式の総数には、自己株式2,936株を含みます。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
Dream Bridge株式会社	21,401	30.01
竹中 洋	3,915	5.49
株式会社AIIN	2,488	3.48
株式会社SBI証券	2,194	3.07
佐藤 充弘	1,592	2.23
楽天証券株式会社	1,121	1.57
岡崎 由雄	1,050	1.47
山下 良久	695	0.97
池上 道弘	466	0.65
熊谷 正昭	465	0.65

※持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式 (2,936株) を控除しております。

株式の分布状況



■ 事業法人等	25,121百株	35.21%
■ 個人・その他	40,726百株	57.09%
■ 金融機関	503百株	0.71%
■ 証券会社	4,147百株	5.81%
■ 外国法人等	811百株	1.14%
■ 自己名義株式	29百株	0.04%
合計	71,337百株	100%



■ 1単未満	187名	6.52%
■ 1単以上	1,575名	54.88%
■ 5単以上	357名	12.44%
■ 10単以上	565名	19.69%
■ 50単以上	98名	3.41%
■ 100単以上	88名	3.06%
合計	2,870名	100%

株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番1号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告 (掲載URL https://www.tksnet.co.jp/) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

株式会社 **東京衡機**
TOKYOKOKI CO. LTD.

〒252-0302 神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
TEL 042-851-6027 FAX 042-851-6028

ホームページのご案内

IR情報や決算情報をはじめ、最新の事業動向をご覧ください。

<https://www.tksnet.co.jp/>

NEW

企業情報に「サステナビリティへの取組み」ページを開設しました。



会社概要 (2022年5月26日現在)

商号	株式会社東京衡機
本店所在地	神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
創立	1923年 (大正12年) 3月20日
資本金	5億円
従業員数	18名 (連結141名)
事業内容	● 東京衡機グループの経営戦略の立案・遂行 ● グループ子会社の統括管理およびサポート ● 商事事業 【グループの事業内容】 ● 試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ● ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス ● 一般消費者向け商品の仕入・販売、各種サービス

役員等 (2022年5月26日現在)

代表取締役社長	石塚 智士
専務取締役 エンジニアリング事業担当兼商事事業担当	平田 真一郎
常務取締役 試験機事業担当	上野 正男
取締役 管理担当	石見 紀生
取締役 (社外取締役)	小塚 英一郎
取締役 (社外取締役)	池本 正純
取締役 (社外取締役)	前田 収
常勤監査役	鶴見 孝
監査役 (社外監査役、弁護士)	水川 聡
監査役 (社外監査役)	玉虫 俊夫
監査役 (社外監査役、公認会計士・税理士)	瀬山 剛
会計監査人	監査法人アリア

事業拠点

国内子会社

株式会社東京衡機試験機

本店・東京支店…… 神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
相模原工場…… 神奈川県相模原市緑区三井315番地
豊橋工場・中部支店…… 愛知県豊橋市北島町字北島202番地
大阪支店…… 大阪府大阪市淀川区西中島五丁目12番8号 新大阪ローズビル7階

株式会社東京衡機試験機サービス

本店…… 神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
本社…… 神奈川県相模原市緑区三井315番地
西日本営業所…… 大阪府大阪市淀川区西中島七丁目8番17号 花原第五ビル8階

株式会社東京衡機エンジニアリング

本店…… 神奈川県相模原市南区上鶴間六丁目31番9号
相模原事業所…… 神奈川県相模原市緑区三井315番地

※2022年2月21日付の当社取締役会決議に基づき、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司の全出資持分を他社に譲渡いたしました。これに伴い、同社および同社の100%子会社である無錫特可思衡機貿易有限公司は当社の子会社でなくなりました。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用し印刷しています。